

宇土市ファミサポ通信 No.18

令和3年 4月号

令和3年度がスタートしました。ファミリーサポートセンター事業は昨年からコロナ禍の中でも援助活動が行われています。活動の多くは児童センター預かりですが、協力会員さんの自宅預かりや送迎等の依頼にも対応しています。子育て中のお母さん方の「困った」を少しでも解決してくれるファミリーサポートは子育て支援の一つです。もっと多くの方に知ってもらうために、今年度も広報活動や会員募集に頑張っていきたいと思っています。会員の皆様、本年度も協力の程よろしくお願いします。そして一日も早く新型コロナウイルスが収束して安心して暮らせる日がくることを願っています。

さて今年の7月には日本でオリンピックが開催される予定です。世界から注目され盛り上がる事でしょう。しかしまだまだ安心はできません。一人一人新生活様式を守り、感染しないように努めましょう。

Q：ファミリーサポートセンターに依頼したいけど、どうしたら良いですか？

A：ファミリーサポートセンター事業事務局(児童センター)に電話連絡後、来館 ⇒ 依頼会員登録(ファミリーサポートセンター事業の説明) ⇒ 1週間前に電話で依頼 ⇒ 協力会員紹介 ⇒ 事前打ち合わせ ⇒ 援助活動

詳しくは宇土市のホームページ(子育て支援→ファミリーサポートセンター事業)に記載されています。ご覧下さい。

援助活動の流れ

【依頼内容：お母さんの通院のための児童センター預かり】

事前打ち合わせ



援助活動



バナナ食べてるね



先生、ごちそう
作ってあげるね



「つどいの広場」でのファミサポ援助活動



ファミサポ通信 No.16 で紹介した H 君の援助活動のその後です。お母さんの仕事が増え、援助活動も週2から週4になり午後からの活動も依頼されるようになりました。コロナ禍の中、感染防止をしっかりと行いながら協力会員さんと一緒にお昼のお弁当を食べている様子です。協力会員さんの温かい言葉かけに H 君もおいしそうにパクパクと食べています。環境が変われば気分も変わり食事の時間が楽しみようです。食後はパワーアップして元気に走り回ったり、時にはお昼寝途中でお迎え時間になったりもします。協力会員さんも毎回楽しく活動をされています。H 君の活動を始めて9ヶ月間、言葉もたくさん覚え協力会員さんと会話も楽しめるようになってきていましたが、4月にお父さんの転勤で宇土市から引っ越しをされました。H 君とお母さんに会えなくなり寂しくなりましたが、新天地でもきっと皆さんから可愛がられていることでしょう。元気で頑張ってくださいね！ 協力会員さんもお世話になりました。ファミサポも新学期になり、また新しい利用者さんとの出会いを楽しみにしています。



じぶんでたべれるよ！



児童センターは花盛り みんな遊びにおいで！！



宇土市ファミリーサポートセンター事業は令和3年度で13年目を迎えます。現在、協力会員49名、依頼会員125名、両方会員1名が登録されています。令和2年度は118の援助活動が行われました。子育て中のお母さん方のサポートができた事を嬉しく思います。

会員さんにお願いです。新年度になり住所や登録内容に変更が生じた場合は、ファミリーサポートセンター事務局にご連絡下さい。また、子育てで困った時は児童センターに一度遊びに来ませんか？ 児童センターは赤ちゃんから小学校6年生まで利用できる施設です。3歳未満のお子さんが遊べる「つどいの広場 サンサン」ではいろいろなおもちゃが用意され、子育ての悩みも保育専門の先生が聞いてくれます。小学生はボードゲームや「鬼滅の刃」の漫画本、卓球など親子でも楽しめます。皆さんの来館をお待ちしております。

